

## 市町村アカデミーからのお知らせ

### ☆ 令和2年度 第1回から第2回までの研修申し込みについて ☆

#### 第1回及び第2回申し込みに係る注意点

※ 第1回～第2回の申込期限に係る研修に関し、定期人事異動の関係でまだ受講者氏名を確定できない場合における申し込みについては、次のように対応してください。

##### 電子申込み

- ① 必要事項入力画面において、**【受講職員】の「氏名」の欄には「未定」、**「受講職員」のその他の必須項目欄には仮の文字、数字等を入力し、送信する。
- ② ア 申込期限前までに受講者職員の氏名が確定した場合  
電子申込サイトにおいて申込情報を修正する。  
イ 申込期限後に受講者職員の氏名が確定した場合  
受講者氏名確定後、速やかに、すべての欄に情報を記入するとともに、「※氏名決定」左の□にレ印を付した申込書を、FAXにより送信する。(FAX：043-276-8484)

##### FAX送信による申込み

- ① **【受講者】枠内の「氏名」の欄に「未定」と記入、**「受講者」枠内のその他の欄は空白とし、送信する。
- ② 受講者氏名確定後、速やかに、すべての欄に情報を記入するとともに、「※氏名決定」左の□にレ印を付した申込書を、FAXにより送信する。

#### ◆第1回分 申込み締切り：3月12日（木）

実施時期	科目名 ・ 組
4月16日(木) ～4月17日(金)	・【特】市町村長特別セミナー① ・【特】管理職特別セミナー①
4月21日(火) ～4月22日(水)	・【特】監査委員特別セミナー
5月13日(水) ～5月15日(金)	・【専】管理職のためのリーダーシップ講座① *管理職対象 ・【専】地域おこし協力隊員及び集落支援員の初任者研修会 ・【専】公営企業の経営

#### ◆第2回分 申込み締切り：4月8日（水）

実施時期	科目名 ・ 組
5月18日(月) ～5月22日(金)	・【専】行政手続と行政不服審査 ・【専】中小企業に対する支援
5月26日(火) ～6月3日(水)	・【専】固定資産税課税事務(土地) ・【専】既存の建物等を活用した地域の再生 ・【専】監査事務①
6月9日(火) ～6月17日(水)	・【専】研修講師養成講座(地方公務員制度)
6月9日(火) ～6月19日(金)	・【専】固定資産税課税事務(家屋)① ・【専】市町村税徴収事務①
6月22日(月) ～6月26日(金)	・【専】法令実務A(基礎)①

※【専】：専門実務課程(対象者：中堅職員以上)

【特】：特別課程(対象者：市町村長、副市町村長、市町村議会議員、監査委員等)

※各科目の詳細(課目・講師等)については、市町村アカデミーのホームページをご覧ください。

〈申込先〉 市町村アカデミー研修部 ホームページ <http://www.jamp.gr.jp>  
電話 043-276-3126 FAX 043-276-8484

## 「巡回アカデミー」(香川県研修) の実施について

市町村アカデミーでは、様々な事情により千葉の本学での研修受講が困難な地域の要請等により、当該地域において高度で専門的なカリキュラムを短期研修として提供する「巡回アカデミー」を平成27年度より年度内に2回、実施しています。

令和元年度の第1回目は、8月7日から9日までの3日間、高松市の香川県自治会館7階において、公益財団法人香川県市町村振興協会香川県市町職員研修センターとの共催で、「監査事務」の研修を行いました。



矢部 祐介氏

7日(水)は開講式の後、「監査制度の課題と展望」と題して、総務省自治行政局行政課監査制度専門官の矢部祐介氏から、監査制度総論、監査基準(案)、実施要領等について、ご講義をいただきました。研修生からは、「監査基準を詳しく説明して下さり分かりやすかった」、「監査基準(案)を見てもピンとこないところがあったが、今日の講義により作成の過程も聞き、内容把握ができた」などの感想が寄せられました。

次に、「地方公会計のポイント」と題して、千葉大学大学院社会科学研究院教授の大塚成男先生から、監査事務を行う上で財務書類の必要性や財務状況等について、具体的に夕張市や千葉県内の自治体の例を用いて、分かりやすくご講義をいただきました。研修生からは「地方公会計については書類を読んでもなかなか頭に入ってこなかったが、先生のお話がとても分かりやすく、また機会があれば受講したい」、「行政における「資産=負担」「コスト=責任」という民間企業との見方の違いは、目から鱗だった」、「シンプルな説明で理解し易かった」、「入庁以来の地方公会計に対する疑問が解けた」などの感想が寄せられました。



大塚 成男先生



馬場 伸一氏

8日(木)は「監査の実務」と題して、福岡市南区地域整備部生活環境課長、元福岡市監査事務局第2課長の馬場伸一氏から、福岡市役所での監査経験に基づく豊富な実例を盛り込みながら、監査の事務を取り巻く社会状況、監査の使命、事務局員に必要な専門性、心構え等について、ご講義いただきました。研修生からは「監査の役割が非常に大事なものだと感じさせられた」、「監査の実務は職員をリスクから守る重要な仕事であることを知り、自信を持って努めていこうと思った」などの感想が寄せられました。

次に、「事例演習(討議)」と題して、馬場伸一氏に各自治体の監査事務局で現実起こったトラブル事例の中から演習用事例を選定していただき、それを指定した班で討議しました。

最終日の9日(金)は、「事例演習(発表・講評)」と題して、各班は討議した結果を発表し、前日に引き続き馬場伸一氏からご講評をいただきました。

限られた時間内での演習でしたが、活発に議論がされ、研修生からは、「他市町の職員と交流できたのは非常に有意義なものだった」、「他の自治体の実際の内容や会話を通して、課題にアプローチする方向、解決に向けての議論など目から鱗であり、大きな収穫を得ることができた」などの感想が寄せられました。

最後に、「財政援助団体等の監査」と題して、弁護士の小林裕彦氏から、監査事務における法的な解釈と、自治体が背負う「リスク」等について、ご講義をいただきました。特に、リスク(訴訟によるダメージ等)の回避の一つとして、会話も含め「記録化」することの重要性を強調されていました。研修生からは「監査を行う上できちんとした視点で行うべきだと大変参考になった」、「監査は事務の合規性、3E(経済性、効率性、有効性)を意識して、監査報告にきちんと入れる大切さが分かった。今までの内容を見直し、改善させたい」などの感想が寄せられました。



高部正男学長あいさつ



小林 裕彦氏

## 市町村長・管理職特別セミナー (11月21日～22日)

11月21日・22日に、令和元年度第3回「市町村長特別セミナー」を開催しました（「管理職特別セミナー」を同時開催）。

今回のセミナーでは、交通、観光、環境、子育てをテーマに取り上げ、それぞれの分野の第一線においてご活躍されている講師の皆様にご講演いただきました。

初日は、「公共交通から考える、これからのまちづくり～公共交通とICT-MaaSの可能性～」と題して、横浜国立大学副学長（国際・地域担当）、教授の中村文彦先生から、移動の自由度と選択肢をキーワードに、自家用車を使わなくても済む場面を増やすことの重要性や、自動車中心のまちづくりから転換して、渋滞緩和や公共交通の利用促進に繋がった海外の事例紹介のほか、シェアリング、自動運転、MaaSなどの昨今の動きについて、ご講演いただきました。参加者からは、「新しいまちづくりのための公共交通について、深く考えさせられた」、「近未来の視点を得ることができた」などの感想をいただきました。



中村 文彦先生



沢登 次彦氏

続いて「地域の未来のために、観光が果たす役割について～データ分析から見る今後の課題と可能性～」と題して、じゃらんリサーチセンター長の沢登次彦氏から、現状の観光マーケットの背景や、2030年から今を考えて、これからの観光施策を取り組む上での外部環境の動向などのほか、地域が今からやるべきことについてご講演いただきました。参加者からは、「観光の今後の可能性を知ることができた」、「最近の訪日外国人や日本人

の旅行の傾向などがわかりやすかった」などの感想をいただきました。

2日目は、「SDGsの達成に向けて地方自治体が果たす役割」と題して、大学院大学至善館教授、翻訳家・環境ジャーナリストの枝廣淳子先生から、講師が自ら日本の各地を見てきて思ったことや、SDGsの目標のほか、地元経済や人口を踏まえたSDGsについて、ご講演いただきました。参加者からは、「SDGsを活用したまちづくりを進めていきたい」、「危機感を持って取り組みを進めていきたい」などの感想をいただきました。



枝廣 淳子先生



奥山 千鶴子氏

最後に「みんなで育てる、地域で育てる未来の子ども」と題して、NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長の奥山千鶴子氏から、講師が横浜市で実践してきた、地域で子どもを育てる取り組みや地域子育て支援の実践のほか、子どもや子育て家庭の現状や調査研究を踏まえた考えなどについて、ご講演いただきました。参加者からは、「子育てには、住民や地域の力が重要だと思った」、「育休中の母親のケアの必要性が理解でき

た」などの感想をいただきました。

## 市町村議会議員特別セミナー (10月17日～18日)

10月17日・18日の2日間にわたり、令和元年度第1回「市町村議会議員特別セミナー」を開催したところ、全国各地から98人の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、政治、地域活性化、防災及び医療福祉をテーマに取り上げ、それぞれの分野の第一線においてご活躍されている講師の皆様にご講演いただきました。

初日は、「イギリスの地方議員について」と題して、イギリス・コーンウォール州議会議長のヒラリー・フランク氏から、イギリスで議員となった経緯などについてご説明いただいた後、日本とイギリスの地方議会制度の違いやイギリスの地方議会議員の仕事内容などについて、流暢な日本語でお話をしていただきました。



ヒラリー・フランク氏



山田 朝夫氏

次に、愛知県常滑市副市長の山田朝夫氏から、「『流しの公務員』赤字病院を立て直す」と題して、霞が関の官僚から地方自治体の経験を経て「流しの公務員」となった経緯についてお話しいただいたうえで、常滑市で関わった市民病院の立て直しの取り組みについて、市民や病院を巻き込みながら再生を果たした経緯を、臨場感あふれる語り口でご説明いただきました。

2日目は、「自治体の防災対策と災害時の市町村議会、議員の対応～近年の災害を踏まえて～」と題して、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授の鍵屋一先生から、近年、災害時に福祉関係者が避難に関わるケースが増えているため、福祉のケアプランなどに災害対応の項目を設けていくことが必要になるとお話しいただいた後、歴史的にみると現代は地震が頻発する時期にあたっているおそれがあり建物の耐震化が重要であること、さらには高齢化などを要因として社会の中で自助・公助が弱まるなか、地区防災計画の策定を契機として自助と公助をつなぐことが重要であることなどを、ご説明いただきました。



鍵屋 一先生

また、災害時の議会として、応急対応時と復興時のそれぞれにおける議員の役割をお話しいただき、事前に災害時の議員行動指針を定めることなど実践的な対策についてご説明をいただきました。



辻 哲夫先生

最後に、「高齢になっても安心して暮らせる地域のしくみづくり」と題して、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授の辻哲夫先生から、超高齢社会の到来により、まちづくりを含めた総合的な予防政策の展開や高齢者の地域就労の重要性が高まっていることについてお話しいただいた後、千葉県柏市における実践事例として「エイジング・イン・プレイス」の理念のもと、可能な限り元気で住み続ける地域づくりのため、医師会、福祉関係者、医療福祉の拠点施設などが連携して取り組んだ事例をご紹介いただき、今後は、地域の資源を組み合わせるマネジメントが重要となり、そのため市町村の役割が不可欠であると丁寧にご説明いただきました。

参加された方々からは、「いずれの講演も講師の熱意が伝わる素晴らしいセミナーだった」、「他の議員に参加を勧めたい」といった感想が寄せられました。

参加された方々からは、「いずれの講演も講師の熱意が伝わる素晴らしいセミナーだった」、「他の議員に参加を勧めたい」といった感想が寄せられました。